

## Y高校 未来×世界×自分 連続講座

### 連続講座の目的

- 外国人や異文化に触れることで、生徒が自己の個性やアイデンティティを振り返ると同時に、彼らの視野を広げ、国際感覚を育成する。
- 多様な大人の人生に触れることで、生徒が自分の可能性、自分らしい生き方、現在の学びが将来にどうつながっていくのかに気づき、考え、未来の自分像をつかむ契機とする。
- 究極的には、高校での進路選択が、彼らの個性と可能性を最大限に発揮した将来の生き方につながっていくこと、また、それが教科学習や大学進学へのモチベーションになることを目的とする。

### 連続講座の概要

上記目的を達成するため

- 第1回では「異文化を学ぶプログラム」を実践する。  
8名の外国ルーツ、もしくは、国際キャリアを持つ講師を招く。生徒が話を聞きたい講師を選択。なるべく双方向の講義を展開する。
- 第2回では「人生を学ぶプログラム」を実施する。  
多様な職種8名の社会人講師を招く。生徒が話を聞きたい講師を選択。なるべく双方向の講義を展開する。
- 第3回では「未来に向けたワークショップ」を実施する。  
1回2回の講義も参考に、生徒が主体的に自らの生き方や進路を追求するためのきっかけやヒントが得られるようなワークショップを行う。

©NPO未来をつかむスタディーズ

## 第1回

### 「異文化を学ぶプログラム」

【形式】8名の外国ルーツ、もしくは、国際キャリアを持つ講師による講義

【講義内容】

- 高校時代の夢
- 今なぜ日本にいるのか、それまでの経緯
- 日本で暮らして、嬉しいこと、悲しいこと
- 日本とルーツ国とのつながり、異同
- 国際社会に生きるとは
- 生徒へのメッセージ「日本の若者に望むこと」など

【講師例】

外国ルーツ(在日、日系、ハーフ、留学生、難民etc)  
国際キャリア(青年海外協力隊OBOG、海外留学・赴任経験者etc)

生徒からの希望・教員の意見も反映させる

【授業イメージ】



日系ベルー・ブラジル人と協力隊OB



イスラムの国から



アフリカの今

## 第2回

### 「人生を学ぶプログラム」

【形式】8名の多様な社会人講師による講義

【講義内容】

- 高校時代の夢
- 今の職業に就いた理由、それまでの経緯
- 仕事のやりがい、つらいこと
- 人生の選択、決断
- 人生の目的
- 生徒へのメッセージ「高校時代にやるべきこと」など

【講師例】

企業(金融、商社、流通、運輸、メーカー、経営者etc)  
専門(医師、アナウンサー、スポーツ選手、弁護士etc)  
生徒からの希望・先生の意見も反映させる

【授業イメージ】



団体職員



ITプログラマー



アパレル社社マン

## 第3回

### 「未来をつかむワークショップ」

【形式】ワークショップ

【内容】

- 夢や目標について考える
- 現在の自分を理解する
- 未来の自分をイメージする
- 可能性はどこにある
- ディスカッション
- アフメーション、自分へのメッセージ

【講師例】

ファシリテーター数名

【授業イメージ】



…になるために、  
僕は今  
これをする！

これからの時代  
に求められる  
人って？

